

リンクスの 事業再生現場

レポート 第39回



(株) リンクス

宇都宮市西一の沢町8-22 栃木県林業会館5F
TEL: 028-634-5088
Mail: info@rincs.biz
URL: http://www.rincs.biz/

【メイドインジャパン】

NHKのドラマ「メイドインジャパン」が興味深い内容であり、身につまされる思いで観ています。

余命3か月の倒産危機に晒された巨大電機メーカーを舞台に、会長特命の再建チームが倒産回避に奔走する。そこに立ち上がるのが、リチウムイオン電池技術を開発したもののリストラされた元社員と、その元社員を受け入れた中国の新興企業。新興企業の技術は、元々は日本の巨大電機メーカーにて開発したものであるが、元社員と共に技術が渡り、日本の大手自動車メーカーと契約が交わされる。その契約を取り返したい巨大電機メーカーが迷走するといったストーリーです。

ここ数年、現実でも大手電機メーカーの巨額の赤字が次々と表面化してきたことから、一般的にはタイムリーなドラマです。しかし、ものづくりの現場の方々からしては、何を今さらという感でご覧になっていることと思います。海外のメーカーに仕事を奪われている下請けの中小企業の方が切実な問題として相当以前から懸念していたことです。

かつて、メイドインジャパンの技術を吸収したい中国・韓国他のメーカーは、金に糸目を付けずに日本の技術を学んできました。日本企業もアジア各国への支援と考えたのか、又は、海外

の下請先確保と考えたのか、積極的に技術を教え込みました。その技術を基礎として中国・韓国他の電機メーカーが躍進しています。

一方の日本国内の中小企業は、今まで受注していた仕事が海外メーカーに取って代わられています。製造業の海外移転は、我々が思っているよりも相当のスピードで進んでいるようです。先日、海外進出の相談を受けた社長さんが悔しそうに話していた言葉が耳に残って離れません。「リーマン・ショックの直後に大手からの受注が途絶えたので、不思議に思っているいろいろ調べてみたら、タイのメーカーにうちがやっていた仕事が全部移管されていたよ。」

製造業の海外移転は、超円高の状況では、やむを得ない選択です。売れるものを作るためには、価格が重要なファクターであることは間違いありません。中小企業でも生き残るためには海外移転を考えなければならないのが事実です。しかし、この状態が続けば、国内の製造能力が縮小を続けることは明らかです。

この状況を打開するのに、最も効果があるのは、為替相場です。超円高が是正されつつありますが、アジア各国との価格競争力が正常に戻れば、メイドインジャパンは復活できるはずですが、国内の製造能力と人材が失われる前に、メイドインジャパンが復活しなければなりません。



〈著者プロフィール〉

代表取締役社長 佐藤 正人

昭和37年生まれ、大田原高校、新潟大学卒。

昭和60年足利銀行へ入行後、営業店、審査部門を経て平成16年退社。

在職中の事業再生の経験を活かし、平成18年栃木県で初めての事業再生専門のコンサルティング会社である(株)リンクスを設立し代表者に就任。以来地元中小企業の多くの事業再生を行っている。